

2024(令和6)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

**若年性認知症カフェ**

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。  
参加される当事者とその家族との交流を通し、互いの不安や悩みを共有することで、安心できる居場所と仲間を作る。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2025年3月15日(土) 13時～15時半 定員15～20名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 交流会（近況報告）

3. 参加者数 9人（内訳：当事者1名、家族6名、専門職2名、一般0名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今月は久しぶりに参加されるご家族や、初めて参加される専門職の方もおり、近況報告を含めた交流会を中心に行いました。開始直前に参加連絡を頂いた当事者の方は、「僕はネガティブな話しをするんですが」と、最近友人と喧嘩をしたお話をされ、ご自身の課題である怒りのコントロールを気にされていましたが、他の参加者から「友達同士本気で言い合えるのは凄い事よ」や「自分に合う環境や集まって来る人の中で泳いだ方が、良い方向に進むのよ」と、ポジティブな言葉をかけて頂き、最後は笑顔を見せていました。またご主人が当事者の奥様からは、「家族にも誰にも言えずに、1人で戦っていたのかを知った時涙が出た」との言葉と、「今できる事を充実させたら良いのかな」と、思うようになったとの言葉を頂き、参加者が皆大きく頷かれる姿が見られました。

5. 所感

ご本人、ご家族、専門職と、立場の違う方々同士ではありますが、若年性認知症という同じ苦労や課題を持ちながら集う仲間だけに、共感できる部分やアドバイスし合える事が多くあります。毎月ここに集う事で、知識だけではなく、気持ちを含めた心身がリフレッシュ出来る事が、ここ若年性認知症カフェの素晴らしさであると感じました。今月のスイーツは、チーズ饅頭でした。



★次回予告：2025年4月19日(土) 以上